

すこやかかか温



医療法人玉昌会 加治木温泉病院

いつまでも健やかに……
——私たちの願いです。

目次

巻頭言	2
お知らせ 自費リハビリ開始	3
訪問診療開始	4
トピックス ボランティア清掃 エコアクション21審査	5
ビアパーティー 消火技術競技会	6
ふれあい看護体験 開催	7
学会報告 日本慢性期医療学会	8-9
始良地区 地域連携NetWorks情報交換会 開催	10
合同スタッフ会議 階層別宿泊研修 開催	11
回復期リハビリテーション病棟 実績公開	12
口腔ケアの必要性	13
意外と知らない？牛乳のこと	14
個人情報保護方針 etc	15
氷山の一角・編集後記・写真紹介	16

医療法人 玉昌会 行動指針

低 賞 感 微

低：全てに謙虚な気持ちで接する
賞：お互いを思いやり敬意を払う
感：全てに感謝する
微：微笑みを添えて態度で示す

巻頭言

～食について思うこと～



診療部長兼地域医療
連携センター長
有馬 卓志

秋も深まり、ますます食欲と体重が増えてきているのは私だけでしょうか。栗、南瓜、みかん、柿、新米に、お魚もお肉もみんな何故かおいしく感じてしまうこの頃です。

食について先日ニュースで『食品ロス』という耳慣れない言葉が使われていました。お惣菜、お弁当、さらにはレストランや家庭での余った食事の事を指すようです。『もったいない』という言葉で、節約の文化を発信していた日本でしたが、食事についてはそうでもないということでしょうか。食堂やレストランで余った食べ物を持って帰るのには抵抗がありますが、欧米には昔からドギーバッグという言葉があります。余った物を犬に食べさせる為に持って帰る・・・実は犬ではなく人間様が食べるのですが、ドギーバッグと、犬が聞いたら怒るような便利な言葉です。

ニュースでは、レストランに余った食事を持ち帰るための自治体が準備した袋を置いておく、という取り組みや、レストランや食堂などで売れ残りの食材や惣菜をインターネットで割安に販売する取り組みが報道されていました。世界には飢餓で苦しんでいる人たちがいて、また日本でも食べることに苦労している子どもたちがいます。一方で食べかけの食事、ほとんど手をつけていないお弁当が捨てられている状況には強い矛盾を考えさせられます。

そういえば、私が子どもの頃、夕方になると、近所のおばさんが、『これ沢山つくったからお裾分け』とか『作りすぎたから食べてちょうだい』などとおかずや、食材を持ってきてくれました。本当に作り過ぎることはあまりなかったように記憶していますが、今よりは食材や、食事に対する思いが強かったように思います。

飽食の時代という言葉だけでは済ませずに、もう一度、農作物や食料を作ってくれている人たちへの感謝、尊敬があるか確認をして、食事を考え直してみようと強く感じました。家の周りで、野菜を作ったり、ニワトリを飼ったり、夕方になると家々から夕飯の匂いや煙が上がっていた・・・便利なものは何もなく、子どもにもみんな役割があって、年寄りも元気で汗を流して仕事をする。ご飯は、家族がみんな揃って、いそがしかったけれど、でもあの頃の笑顔はみんな輝いていた様な気がします。私の家はマンションとなってしまいましたが、昔の懐かしい思い出になってしまった、あの“となりぐみ”のようなコミュニティが築けないか、頑張ってみようと思います。

加治木温泉病院

《理念》

行動指針「低賞感微」に沿った医療及び介護サービスを提供します。

《基本方針》

1. 患者さまの尊厳と権利を尊重した医療・介護を目指します
2. 患者さまの視点に立ち、良質で安心・安全な医療・介護の提供に努めます
3. 地域包括ケアシステムの構築に寄与し、地域のニーズに沿った医療を担い、入院から在宅までの一貫した医療・介護の提供を目指します
4. 病院および在宅サービス事業部の健全な運営を行い、安心して働きがいのある職場づくりに取り組みます
5. 健診や保健指導により地域住民の健康管理や病気および介護予防に取り組みます

お知らせ

8月より**自費リハビリ**を開始しました。

リハビリテーションは病気やケガを負ってから、既定の期間しか保険の適応がなく基本的に十分なリハビリテーションが受けられなくなります。例えば、脳卒中や脳外傷（脳血管疾患）は**150日～180日間**、骨折や関節の手術後（運動器疾患）は**150日間**、1日6単位～9単位（1単位あたり20分）のリハビリが行えますが、期間を過ぎた場合には、月13単位までが医療保険でのリハビリとなります。

上記の期間を過ぎてもリハビリテーションが必要な患者さまもいらっしゃいますが、国の方針で13単位以上はリハビリができない仕組みになっています。

一方、厚生労働省が定める項目の中には、**内容が適切と認められた場合**、制限回数を超える医療行為としてリハビリテーションの「**自費請求**」が認められています。

当院では期限を過ぎた場合でもリハビリが必要な場合があることを重視し、行政機関に制限回数を超える医療行為の届け出を行い、内容が適切と認められましたので、自費でのリハビリテーションを今年8月より開始しました。

料金設定に関しては、当院が各種疾患別リハビリテーション料の最高位の届け出基準（ハード面・ソフト面）になっていることなどから、次の料金設定にて行政機関に届け出が認められました。

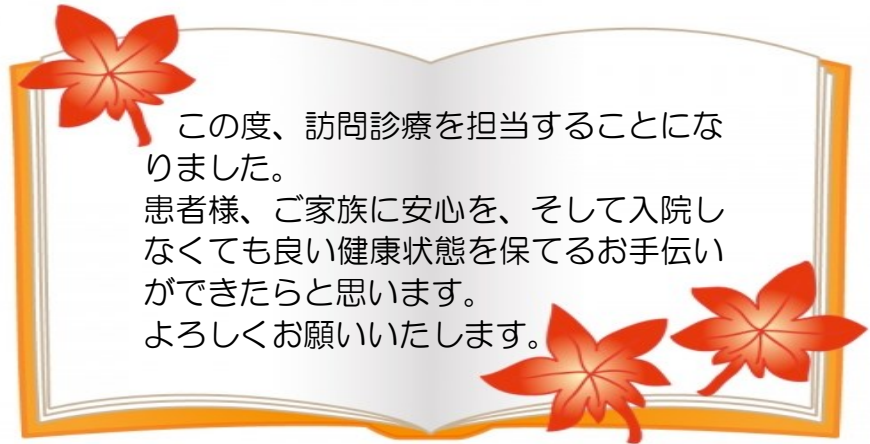
1単位(20分)あたりの料金	
疾患別リハビリテーション名	料金
脳血管等リハビリテーション料(1)	3,600円
脳血管等リハビリテーション料(1) (要介護被保険者等の場合)	2,200円
廃用症候群リハビリテーション料(1)	2,700円
廃用症候群リハビリテーション料(1) (要介護被保険者等の場合)	1,600円
運動器リハビリテーション料(1)	2,700円
運動器リハビリテーション料(1) (要介護被保険者等の場合)	1,600円
呼吸器リハビリテーション料(1)	2,600円



開始の手続きは、ご家族より院内スタッフにご相談をいただいたのち、詳細について、地域連携室・医事課のスタッフより説明し、申し込み書の記入をしていただきます。その後、主治医他、担当スタッフで自費リハの開始についてカンファレンスを行い、ご家族にご説明・同意をいただく流れになっています。自費リハについても、患者さまの目標の確認とリハの実施の結果についてのご報告を行い、リハ効果と継続について定期的に検討いたします。

お知らせ

10月より訪問診療をはじめました。



医師	伊藤 欣司
診療日	第1・3木曜日 14:00~
場所	しあわせの杜 ケアレジデンスおはな別館
資格 認定	<ul style="list-style-type: none">・日本外科学会 外科専門医・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医・慢性期医療認定講座修了・鹿児島県医師会認定かかりつけ医



2018年10月18日（木）に第一回目の訪問診療が、しあわせの杜 ケアレジデンスおはな別館で行われました。病院の診察室とは違い、穏やかな雰囲気の中、今回は7名の入所様の診療が行われました。入所様にとって、住み慣れた場所での診察だったため、安心して診察を受けられているようでした。

今後、しあわせの杜 ケアレジデンスおはなへの訪問診療も予定しています。

トピックス

2018年7月19日（木）ボランティア清掃を行いました。

加治木温泉病院から歩いて春日神社に向い、その道のりと神社周辺のゴミ拾いなどを行いました。落ち葉がたくさん落ちていましたが、参加者全員で協力し、綺麗になりました。

朝早くからの作業でしたが、清掃を行い気持ちの良い1日のスタートとなりました。



トピックス

2018年8月20日（月）～21日（火）の2日間にかけてエコアクション21の訪問審査を受審しました。

エコアクション21は、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム（EMS）です。一般に、「PDCAサイクル」Plan（計画の策定） Do（実行） Check（取組状況の確認） Action（取組の評価と見直し）と呼ばれるパフォーマンスを継続的に改善する手法を基礎として、組織や事業者等が環境への取り組みを自主的に行うための方法を定めています。

今回、「いこいの里」花いちもんめ（グループホーム）を入れたの拡大審査となりました。日々、職員がエコを意識して業務に取り組んでいる事を評価され、特に不適合もなく、無事終える事ができました。



- 当院は環境への負荷の削減や環境改善を図るために下記事項に取り組んでいます。
 - ①地球温暖化対策のため省エネルギーに取り組み二酸化炭素の削減に努めます。
 - ②資源の有効的活動を図り、リデュース・リユース・リサイクルの3Rを推進します。
 - ③廃棄物の削減及び適正管理に努めます。
 - ④水使用量の削減に努めます。
 - ⑤特定化学物質の使用量の削減、安全な管理を行います。
 - ⑥医療、福祉サービスを効率的に提供し資源を有効的に活用します。
 - ⑦地域清掃活動を継続します。

今後も職員一同、様々な場面でエコに取り組んでいきたいと思っております。

トピックス

2018年7月26日（木）城山ホテル鹿児島において、毎年恒例の「始良地区納涼ビアパーティー」が行われ、職員200名が参加しました。



美味しい料理とビール片手に他職種との交流も深まり、職員一同大変盛り上がりました。

トピックス

2018年9月20日（木）始良市防火協会主催の、第27回消火技術競技会が開催されました。

今年も当院より6名の職員が出場しました。当日はあいにくの空模様でしたが、怪我もなく、一生懸命、競技を行っていました。

出場者

- 消火器の部（男子）：梅田和美（ケアワーカー）
（女子）：大嶺奈緒子（医療クラーク係）



消火器の部は、出発点をスタートし消火器にて火元を想定した標的を倒し出発点まで戻ってくるまでのタイムを競いました。

●屋内消火栓の部

- 優勝 佐々木翔健・中野美空 チーム（総合リハビリテーションセンター）
- 3位 荒木智子・北山希望 チーム（受付・医事係）



屋内消火栓の部は、1チーム2名で協力し3本のホースを延ばし繋いで送水し50メートルほど先にある標的を倒すまでのタイムを競いました。



ふれあい看護体験2018

ふれあい看護体験とは「看護の日」制定記念事業の一つとして生徒・学生・一般の方に実際の看護の場を体験していただきます。患者さんとのふれあいを通して看護することや、人の命について理解と関心を深める機会とすることを目的とし、毎年、全国の看護協会が主催して行われるイベントです。当院は、昨年に引き続き2018年7月31日（火）3回目の開催となりました。

参加者は、中学1年生から高校2年生まで幅広い年齢の学生さんたちでした。開始時より和気あいあいと、笑い声が絶えない雰囲気、まずは各部署の見学を行いました。

各部署では、職種の役割や看護師との関わり方、多職種との連携の仕方、また、その職種になるための進路や資格取得方法などの説明を受けていました。



食堂談話室にて、車いす、リクライニング車いす、ストレッチャーを使用して実際に乗り、乗り心地や早く動かされた時の恐怖感などを体験しました。

午後からは、採血体験や、血圧測定・パルスオキシメーター体験、AED体験、デイケア室にてレクリエーションへ参加しました。皆さん、初めての体験で戸惑いながらも、積極的に参加していました。

【学生の感想】

- ふだん体験することのできない、白衣やオペ着を着たりすることができて楽しかった。
- 本日の貴重な体験を通して勉強になったことがたくさんあったので、これからの夢実現に活かしていきたい。
- 見学や、体験を通して職場の雰囲気をつかむことができた。



学会報告

当院では、職員が現場で培った研究や業務改善の成果を、たくさんの学会へ参加し発表を行っています。多くの病院職員が参集するこのような学会では、他院の研究成果もリアルで体感することもでき、情報収集の場となっています。

第26回 日本慢性期医療学会

日時：2018年10月11日（木）～12日（金）

会場：城山ホテル鹿児島

演題：地域包括ケア病棟における意欲向上を目指す
集団レクリエーション介入の試み

演者：看護師 中野町 徹

当病棟で取り組んでいる、集団レクリエーション（みんトレ）についての発表を行いました。他病院でも、同じような集団レクリエーションに取り組んでいるようでしたが長続きしないケースが多いとのことで、当病棟は1年以上継続できており、誇りに感じました。今後も患者様のADL向上や在宅復帰率の向上を目指し、他職種との連携を深めていきたいと思えます。



演題：院内における医療クラークの取り組み
～医師事務作業補助体制加算を算定して～

演者：医療クラーク 竹之内 靖子

当院では平成23年8月より医師の業務負担軽減を目的に医療クラークを配置しています。また平成29年4月の診療報酬改定では療養病棟においても医師事務作業補助体制加算が算定可能となり、現在6名の医療クラークが在籍しています。今回の研究発表で医療クラークの理解・周知度を確認するとともに今後の医療クラークの取り組みの課題を明確にすることができました。



演題：介護療養病棟における看取りの現状と確認

演者：看護師 堀田 浄美

今回、日本慢性期医療学会が鹿児島で行われる事になり、発表の機会を得ることが出来ました。3階東病棟スタッフの看取りについての意識調査と、取り組みについて発表しました。出題数も多く、看取りに対する取り組みの必要性を強く感じました。病院、施設、自宅と看取りの場所は様々ですが、スタッフの真摯な思いは、いずれも変わらず共感することが出来ました。今回多くの発表を通じ得たものを現場に活かして行きたいと思えます。



学会報告



演題：脳血管障害者における退院支援・指導に着目した
回復期クリニカルパス改良の試み
演者：看護師 鍛冶 麻依子

回復期病棟では、入院から退院までの医療・ケアを標準化した回復期クリニカルパスがあります。今回、現在使用しているパスに退院支援に関する項目を組み込むように改良を行いました。今回の学会では、内容を検討し改良するまでの内容を発表しました。今後は、パスを継続して使用し、その中で見えてきた問題点をさらに検討し、よりよいパスを目指したいと思います。

演題：継続した服薬管理に向けて
～アンケートから見えた課題～
演者：看護師 久保田 菜穂子

患者様が継続した在宅生活を送るためには、服薬についての理解が重要であると考え、服薬指導に関する看護師の意識調査を行いました。服薬コンプライアンスが向上するためには、さらにチーム医療を強化していく必要があり、今後の課題が見い出されました。当院では、慢性疾患を持つ高齢者が多いので、在宅療養中の患者様が継続して在宅生活を送れるよう、今後も携わっていきたいと思います。



演題：業務の見直しを行うことで見えてきたこと
演者：ケアワーカー 村田 健

ケアの病棟業務について業務改善を行う事に取り組み、その中のいくつかを発表させていただきました。また、様々な他者の演題や、シンポジウムを聞く事により大変勉強になりました。学会で学んだ事を、病棟で少しでも活かせるように日々の業務に励みます。



始良地区 地域連携Net Works情報交換会

日時：2018年8月24日（金）

会場：鹿児島空港ホテル

当交換会は、加治木温泉病院が主体となり、始良・伊佐二次医療圏内の医療機関、介護事業者の方々との顔の見える連携の場を提供する目的で、定期的開催しているものです。

12回目の今回は鹿児島空港ホテルでの開催となり、始良市、霧島市、伊佐市、鹿児島市の12の医療機関、25の介護保険施設や在宅サービス事業所等より多くの方にご出席いただき、総勢117名での交換会となりました。

セミナーでは、当院腎不全外科科長・腹膜透析センター長 松本秀一朗先生より「高齢者に優しい在宅透析・腹膜透析とは」について講話がありました。

ご出席された皆様より「有意義な時間を過ごせた」「多くの方々とお話できる貴重な機会なのでまた参加したい」という声を多数いただきました。

今後も玉昌会グループは地域包括ケアシステムの構築へ寄与する医療サービス提供のため、地域医療連携強化への取り組みを行なって参ります。次回は2019年2月に開催予定です。次回も多くの皆様方のご出席を心よりお待ちしております。



▼以下は参加された事業所です

始良市	霧島市
よしだ内科クリニック	国分生協病院
大井病院	霧島記念病院
南九州病院	霧島市立医師会医療センター
加治木整形外科病院	特別養護老人ホーム 横川緑風園
尾田内科胃腸科	地域密着型特別養護老人ホーム みどりの里
鹿児島県立 始良病院	介護老人保健施設 アメニティ国分
内倉外科医院	通所介護 より愛きりしま
特別養護老人ホーム 加治木望岳園	居宅介護支援事業所 横川緑風園
グループホーム こころ	居宅介護支援事業所 フロイデ
グループホーム 1こきえ	小規模多機能ホーム ふもとの家
小規模多機能ホーム 1こきえ	有料老人ホーム テラス姫城
有料老人ホーム ノアハウス・デイサービスマリン	有料老人ホーム 今日館
有料老人ホーム サザンブルー鹿児島	有料老人ホーム はびね隼人
介護老人保健施設 シルバータウン加治木	有料老人ホーム はびね国分
居宅介護支援事業所 ケアプランセンター海風	サービス付き高齢者向け住宅 より愛きりしま
居宅介護支援事業所 介護相談所そよ風	霧島市地域包括支援センター・溝辺支所
居宅介護支援事業所 リハケアネクサス株式会社	鹿児島市
伊佐市	社会福祉法人 寿康会
寺田病院	鹿児島国際大学
鹿児島県立 北薩病院	

合同スタッフ会議 開催

玉昌会グループでは、役職者を対象に半期ごとに合同スタッフ会議を開催しています。今回は、10月23日（火）18時より高田病院にて開催され、理事長兼加治木温泉病院院長の高田昌実先生並びに鹿児島地区担当理事兼高田病院院長の萩原隆二先生より、経営方針と実績、当法人の施策等の話がありました。

健康経営については、従業員の健康保持・増進が将来的に収益性を高める投資であるとの考えの下、健康管理を経営的視点から考え戦略的に実施すること。具体的な取り組みとして、健康保険組合の設立準備や『CARADA』アプリを使用し、機能や使用感を検証、法人が行っている健診事業やフィットネス事業のツールとして発展させていきたいとのことでした。

玉昌会グループのビジョンとして、地域包括ケアシステムをベースとしたヒューマンライフラインを構築し、健康・医療・介護・福祉サービスを含めた総合生活支援サービスを提供していく法人を目指していくと発表がありました。

<p>2018年度玉昌会グループ 上半期合同スタッフ会議 ～これからの玉昌会の取り組みについて～</p> <p>医療法人 玉昌会 理事長 加治木温泉病院 院長 高田 昌実</p>	<p>2018年度第1回合同スタッフ会議</p> <p>2018年（平成30年）度 上期評価</p> <p>2018年10月23日（火） 医療法人 玉昌会 鹿児島地区担当理事 高田病院 院長 萩原 隆二</p>	<p>玉昌会グループビジョン</p> <p>玉昌会グループは、健康・医療・福祉・社会生活の課題を掛け合わせ、地域包括ケアシステムを構築し、地域に根ざした健康・医療・介護・福祉サービスを提供していく法人を目指します。</p>	<p>全職員に配布するCARADAアプリ</p> <p>健康データ バイタルデータ</p> <p>評価実績例</p> <p>日々の歩数や体重、食事や血圧など様々なデータを8種類の記録・管理</p>
---	---	---	--

第23回階層別宿泊研修 開催

2018年9月28日（金）～29日（土）にかけて、ホテルウェルビューかごしまにて、入職3年目の職員を対象に、第23回階層別宿泊研修が開催されました。

研修では、九州人事マネジメントの三原先生による中堅職員の役割や仕事への取り組み方、心構えについての講義、“自分たちにできること”や“ソウレンホウ”をテーマにグループワークなどを行いました。



懇親会では、両地区の職員で和やかな雰囲気の中、アルコールも入り話が弾んでいました。終了後も、翌日のグループ発表に向け、多くの参加者が話し合いや資料作成を行っていました。

普段あまり話し合うことのない他職種の職員でグループワークを行い、意見を交わし、良い刺激になったのではないかと思います。

研修で学んだ事を、今後の業務に活かし、中堅職員として更なる活躍を期待しています。

回復期リハビリテーション病棟 実績公開

回復期リハビリテーション病棟は脳血管疾患または大腿骨頸部骨折などの患者様に対して、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・社会福祉士などがチームを組み、一定の入院期間内でリハビリテーションを集中的に行う病棟です。

積極的にリハビリテーションを行うことで、起きる、食べる、歩く、トイレへ行く、お風呂に入るなどの日常生活動作（ADL）能力の向上を図り、在宅復帰・社会復帰をサポートすることを目的としています。

回復期リハビリテーション病棟は入院料1～6までの6段階に分かれており、当院は最も重症な方への対応が可能な「入院料1」の基準を取得しております。



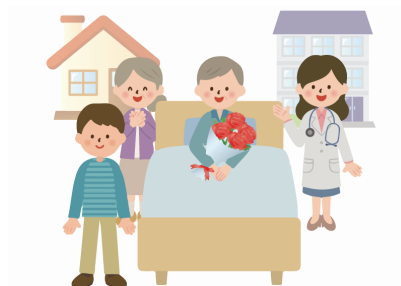
下記に当院のリハビリテーション実績を公開します。

（実績調査期間2018年4月～9月）

●在宅復帰率 82.9%

入院された患者様が自宅（在宅施設）へ退院された割合です。

【基準】入院料1～4：70%以上
入院料5～6：なし



●重症者受入の割合 58.5%

新規入院患者様のうち、重症患者様の割合です。

【基準】入院料1～2：30%以上 入院料3～4：20%以上 入院料5～6：なし

●重症者改善率 48.4%

重症者改善率とは回復期リハビリテーション病棟に入院された重症患者のうち、退院時の生活機能評価が入院時に比べ4点以上改善した患者様の割合です。

【基準】入院料1～2：30%以上（4点以上改善）
入院料3～4：30%以上（3点以上改善）
入院料5～6：なし



●患者様1人あたりのリハビリテーション数 7.3単位 患者様1人に対する1日あたりのリハビリテーション実施数です。（1単位＝20分）



口腔ケアの必要性

歯科

口から食べ物をとっていない人だからこそ口の清潔は大事！

口から食べたり飲んだりしていないと、口は汚れていないと誤解されがちです。

しかし、食事をしていなくても粘膜の老廃物や痰などの汚れは溜まっています。

また、唾液の分泌量も低下するので、口の中は細菌が増加し誤嚥性肺炎にかかりやすいとされています。

経管栄養の方にも1日に1回は口腔ケアを行きましょう。



就寝前の歯磨きが大事なわけ

寝ている間に知らず知らずに唾液を誤嚥していることがあります。口やのどが汚れていると唾液とともにたくさんの細菌が気管に入り込み、肺炎などによる危険性が高くなります。

誤嚥性肺炎予防のためにも、特に就寝前の口腔ケアは大切です。



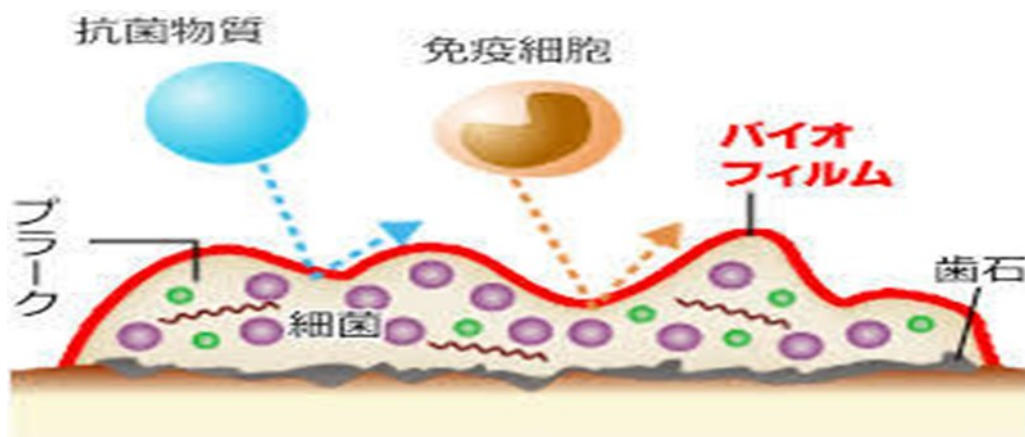
バイオフィルム

口の中の細菌はバイオフィルムという形で存在しています。バイオフィルムとは、細菌が分泌するネバネバした物質で自らの体を覆い、多くの細菌と共に生息している集まりのことです。

バイオフィルムは、水に溶けないため、こすり取る必要があります。歯の表面に付着している歯垢や舌苔、入れたままの入れ歯の表面がヌルヌルしてくるのもバイオフィルムであり、こすり落とすことでしか除去することはできません。

洗口液や入れ歯洗浄剤に頼るのではなく、歯ブラシで丁寧に、こすらなければならないのです。

これらの細菌を取り除くことが、むし歯や歯周病だけでなく、誤嚥性肺炎の予防にも繋がります。





意外と知らない？牛乳のこと

栄養室



牛乳はカルシウムを多く含む食材として有名ですが、その他にも糖質やたんぱく質、ビタミン・ミネラルなど多くの栄養素を含んでいます。牛乳の摂取量の目安は1日200ml（コップ1杯）程度。カルシウム以外の効能も知って手軽にとれる牛乳の良さを再確認してみませんか？

牛乳の効能

乳糖

腸内細菌の働きによって、腸の運動を高めて便秘を防ぎ、便を柔らかくする働きがあります。

さらに、腸内の悪玉菌が生産する腐敗物質や発ガン物質の増殖を防いだり、ビフィズス菌の栄養源や腸内環境を整える役割もあります。

蛋白質

たんぱく質の中でも、カルシウムの吸収を助けるガゼインを多く含んでおり、牛乳のカルシウムの吸収が高いのはこのガゼインのおかげでもあります。また、尿酸排泄作用も持つことから痛風の予防にも効果があります。その他には、興奮をおさえ眠りを誘うオスオイドペプチド、鉄吸収を調整する働きを持ち、貧血の予防効果のあるラクトフェリンなどがあります。



ビタミン・ミネラル

カリウムやマグネシウム、ビタミンB2など幅広いビタミンやミネラルが含まれていますが、特に多く含まれているのはビタミンB12です。ビタミンB12は体内のエネルギー生産に必要な栄養素です。また、神経とも関係が深いと言われ脳の発達にも影響することが知られています。最近の研究では、アルツハイマー症候群などの認知症にも関与していると報告されています。特に60歳以上ではビタミンB12の欠乏が増加します。

～牛乳のアレンジレシピ～

○ミルクスカッシュ○

■材料（1人分）

- ・牛乳 100ml
- ・サイダー 100ml

□作り方

牛乳、サイダーをともに冷やしておき、半々の割合でそそいだら、完成。ミントの葉などを添えると
いっそうさわやかな仕上がりになります



<1杯当たりの栄養価>

エネルギー:108kcal

蛋白質:3.3g

脂質:3.8g

○個人情報保護方針

当院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考えます。個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

1. 個人情報の収集・利用・提供

個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集・利用および提供に関する内部規則を定め、これを遵守します。

2. 個人情報の安全対策

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全の予防措置を講じます。万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

3. 個人情報の確認・訂正・利用停止

当該本人（患者さま）等からの内容の確認・訂正あるいは利用停止を求められた場合には、別に定める内部規則により、調査の上、適切に対応します。

4. 個人情報に関する法令・規範の遵守

個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守します。

5. 教育および継続的改善

個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則を継続的に見直し、改善します。

6. 診療情報の提供・開示

診療情報の提供・開示に関しては、別に定めます。

7. 問い合わせ窓口

個人情報に関する問い合わせは、各部署責任者または以下の窓口をご利用ください。

個人情報保護相談窓口：地域医療連携センター

○診療情報の提供及び開示につきまして

当院では、患者さま・ご家族より診療情報の提供及びカルテ開示についてお申し出があった際は速やかに対応させていただくシステムになっておりますが、必要な条件書類等がございます。担当の窓口にて対応させていただきますので、ご遠慮なく病棟スタッフへお申し出ください。

○セカンドオピニオンにつきまして

患者さま・ご家族が、当院で十分納得して頂き、患者さまが主体的に治療を受けて頂く為に、第三者である他医療機関の医師の診療をうけることについてはそれに応じさせていただいております。同じく他医療機関を受診されている患者さま・ご家族についても対応させて頂いております。詳しくは地域医療連携センターまでお尋ね下さい。

○患者さまの権利宣言

すべての人は、人格を尊重され健康に生きる権利を有しています。患者さまにおかれましては、健康を回復し、維持増進するために、医療スタッフの助言協力を得て、患者さまの選択のもとに、最善の医療を受ける事は人として基本的権利です。

【平等で良質な医療を受ける権利】

患者さまは本人の経済的社会的地位、年齢、性別、疾患の種類などにかかわらず平等で良質な医療を受ける権利があります。

【選択の自由の権利】

患者さまは担当医師および医療機関を選択し、または変更する権利があります。またいかなる時でも他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

【知る権利】

患者さまは、自らの状況（病名、病状、検査結果）について納得するまで十分に説明を受ける権利があります。

【自己決定権】

患者さまは納得できるまで説明を受けたのち、医療スタッフの提案する医療行為を自分で選択する、同意して受ける、あるいは拒否する権利があります。

【個人情報の保護】

患者さまは、全ての個人情報、プライバシーが守られる権利があります。

氷山の一角（意見箱より）



（患者さま・ご家族様からのご意見・ご要望に関する回答）

・3階の方で、テレビを1人じめして皆がみれません。前に座って、チャンネルを持って、自分の好きなチャンネルだけみて、苦情が出ています。どんなふうにすればいいんですか。

⇒大変ご不便をおかけして申し訳ございません。食堂談話室のテレビは皆さんで気持ちよく視聴していただきたいと思っております。特定の番組を視聴される場合は、ご自分の部屋で見させていただきますようお願いしております。個人でチャンネルを独占される方がいらっしゃいましたらスタッフまでご連絡なくお知らせください。都度、対応させていただきます。

ご意見箱は、外来と各階食堂談話室並びに腎センターへ設置してあります。患者様・ご家族様よりいただきましたご意見に対して、当院では毎月開催しております「サービス向上委員会」にて検討し、改善策を導き出して対応させていただいております。皆様からのご意見を今後ともよろしくお願い申し上げます。

✿編集後記✿

広報誌をご覧くださいありがとうございます。秋も一段と深まり日だまりの恋しい季節となりました。感染症が流行って参りますので、手洗いうがい等を実施し、体調管理には十分お気を付け下さい。
（編集委員 田中）

✿表紙の写真✿

始良市にある黒島神社近くの風景です。稲刈りも終わり、冬に向け、動物たちも冬仕度を始めています。風が冷たくなり夕暮れも早く、山の葉も散り、物寂しく感じる季節となりましたが、平成最後の冬を楽しみ、元気で明るく2019年を迎えましょう。
（写真提供：施設管理部 鎌倉照實さん）

※本掲載分の個人名・団体名につきましては個人情報保護法に基づき、本人またはご家族の同意を得て掲載されております。



医療法人 玉昌会 加治木温泉病院

〒899-5241

始良市加治木町木田4714

TEL 0995-62-0001 (代)

FAX 0995-62-3778

URL <http://www.gyokushoukai.com/>

診療科目

- 内科 ●消化器内科 ●腎臓内科(人工透析)
- 肝臓内科 ●循環器内科 ●脳神経内科 ●泌尿器科
- 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 ●リハビリテーション科
- 外科 ●消化器外科 ●整形外科 ●皮膚科 ●歯科

